

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	認可外保育所入所児童等健康管理助成事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智
	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2316
予算科目	会計一般	款3	項2	目3	事業連番10577	法令根拠	熊本県認可外保育施設児童等健康管理支援事業、合志市認可外保育施設児		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	認可外保育所へ入所している児童及び職員の健康診断経費を助成する。 基準を満たす認可外保育施設に入所している児童に対し定期的に健康診断をすることにより、健康管理の一層の向上を図ることを目的に、平成12年度より実施された。平成12年度には県でも同様な要項が制定された。町要綱では平成14年度に第2条(対象施設; 2ア(2)中の看護婦→看護師に変更)が改正され、平成17年度からは県要領の改正に伴い職員の健康診断も追加された。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付: 状況報告書・事業計画書)の受付、審査 ②交付決定通知書 ③事業の実施 ④実績報告書(添付: 事業実績報告書) ⑤補助金交付決定通知書 ⑥変更交付申請/確定通知 ⑦補助金の請求 ⑧補助金の支払
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	この事業に対し、保護者や保育園からの特別な要望等はない。認可外保育園の園長からは、経営上助かる補助であるとの声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
児童分: 3園延べ169人に対して126,000円の助成を行った。(内、県補助1/2)	昨年同様、児童分と職員分に対して補助申請を行う園に対し、補助を行う。(事業の補助基準等は同じ)。
職員分: 3園延べ12人に対して57,000円の助成を行う予定。(内、県補助2/3)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 認可外保育所数(事業所内保育園を除く)	園 認可外保育所の新設による増額
イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・認可外保育所の入所児童	→ ア: 入所児童数(4月1日計画時、3月31日実績時) 人
・認可外保育所の保育士	イ: 保育士数(4月1日計画時、3月31日実績時) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
入所児童及び保育士の健康を維持できる。	→ ア: 受診児童数(受診延人数) 人
	イ: 受診保育士数(受診延人数) 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
基本的に認可外保育所でも児童の健康診断は2回(内科健診、歯科検診)を県より指導されており、児童のいる認可外保育所では原則、この補助を受けて事業を実施するように指導していく。職員の健康診断については、指導事項ではないが、職員の健康管理は児童の保育と密接であり、健康診断は必要と考えられるため、前年同様に実施を呼びかける。次年度も同様に実施を呼びかける。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 園		4	4	3	8	8	8	8	8	
	イ										
② 対象指標	ア 人		110	62	40	169	180	180	180	180	
	イ 人		8	13	10	12	20	20	20	20	
③ 成果指標	ア 人		225	172	160	169	180	180	180	180	
	イ 人		8	10	13	12	20	20	20	20	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	86	121	108	106	171	142	142	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	99	114	87	90	137	108	108	108
		(A) 事業費計	千円	185	235	195	196	308	250	250	250
		(A)のうち指定経費	千円	0	44	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	187	185	206	201	226	226	226	226
トータルコスト(A)+(B)	千円	372	420	401	397	534	476	476	476		
人件費	正規職員従事人数	人	4	2	3	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	47	45	50	50	55	55	55	55	

事務事業名	認可外保育所入所児童等健康管理助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 認可外保育所の在園児および保育士について健康診断を行なうことができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 児童の健康管理事業分としては、認可外保育所に通園する児童を想定しており、目標達成見込みである。職員の健康管理事業分としては、昨年同様に検討しており、目標達成の見込である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 市内の基準を満たす認可外保育施設（新設園を除く）は全て申請しており、入所児童及び保育士の受診状況も良いので、向上の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業等はなく、他に手段がない。(国と県の補助事業である。)	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 上位事業に県の事業があり、市への助成もあるため、他に手段はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 助成の手続きとしては、交付申請に伴う審査決定および支払と実績報告に伴う確定事務という最低限の事務のため、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 基準を満たす市内の認可外保育施設は全て対象であり、住所要件に関係なく全入所児童及び保育士が対象であるが、上位に県事業があり市への助成があるので、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 【前年度内容】事業の実施はあくまで、認可外保育所であり、行政は補助金を支給している。役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

この補助事業は、上位に国と県の補助事業があるため、事業内容について市が考慮する点はないが、児童の健康管理と保育士の健康管理のために有効な事業である。
認可保育所の場合は運営費として多額の税金が投入されており健康診断等は義務付けされているが、認可外保育所においては、義務付けまではできないため、一部負担はあるものの健康診断の実施について当事業が有効に機能していると思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						